



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 3184 URL http://www.icda.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 向井 弘光  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 黒田 悟郎 (TEL) (059) 381-5540  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,486	—	356	—	329	—	185	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 192百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	94.99	—
25年3月期第2四半期	—	—

当社は、平成25年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第2四半期の売上高等の各金額、対前年同四半期増減率及び平成26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,395	3,406	23.4
25年3月期	14,546	2,783	18.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,366百万円 25年3月期 2,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,494	9.5	973	47.2	867	45.6	530	25.4	261.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	2,100,000株	25年3月期	1,803,000株
26年3月期2Q	一株	25年3月期	一株
26年3月期2Q	1,957,180株	25年3月期2Q	一株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成25年12月5日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であります。なお、当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果により、円安・株高が進んだことで、輸出関連企業の業績回復や、高額商品を中心とした個人消費の回復など、一部では景気回復の兆しが見え始めています。しかしながら、消費税増税の決定により、増税後の個人消費の落ち込みが予想されるため、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

自動車販売業界においては、ホンダを始め、各メーカーが環境対応車の発表により燃費競争が加速している状況と、消費税増税前の駆け込み需要などにより、各メーカー間での競争が続いております。

このような状況下、当社グループは積極的に宣伝広告等を実施し、お客様に向けて商品やサービスの付加価値を最大化するバリューチェーンビジネスを展開してまいりました。この結果、売上高は、114億86百万円、営業利益は3億56百万円、経常利益は3億29百万円、四半期純利益は1億85百万円となりました。

セグメント毎の状況は以下の通りであります。

## ① 自動車販売関連事業

当セグメントにおきましては、前期の4～9月はエコカー補助金効果により、新車販売台数が増加し、中古車販売台数が減少する傾向がありました。当第2四半期連結累計期間においては、補助金効果のない状況ではありましたが、ホンダのNシリーズを中心とした新型軽自動車、輸入車の新型車の発売により、新車販売台数は前年同期比2.2%減に留まり2,720台となりました。一方、中古車販売台数は前年同期比9.6%増の4,639台となりました。この結果、売上高は111億59百万円、セグメント利益(営業利益)は4億26百万円となりました。

## ② 自動車リサイクル事業

当セグメントにおきましては、使用済自動車の入庫が前年同期比25.3%減の3,274台となり、生産台数(再資源化处理)は前年同期比3.8%増の4,050台となりました。円安により、輸出向けリユースパーツ売上は減少しておりますが、資源価格は上昇傾向にあり、資源売上と国内向けリユースパーツ売上が堅調に推移したことで、売上高は3億26百万円、セグメント利益(営業利益)は74百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況の分析

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1億50百万円減少し、143億95百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少4億53百万円、商品及び製品の増加2億86百万円等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より7億72百万円減少し、109億89百万円となりました。これは主に、借入金の減少5億62百万円、未払法人税等の減少1億23百万円等によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より6億22百万円増加し、34億6百万円となりました。これは主に、有償一般募集増資による資本金の増加2億59百万円及び資本剰余金の増加2億59百万円、四半期純利益の計上1億85百万円による利益剰余金の増加、配当金の支払い90百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末より4億53百万円減少して11億30百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億75百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が3億29百万円、減価償却費2億87百万円等による資金の増加と、たな卸資産の増加額1億39百万円、法人税等の支払額2億50百万円等による資金の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億91百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4億70百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億37百万円となりました。これは主に株式の発行による収入5億19百万円等の資金の増加と、長期借入金の返済による支出3億70百万円、短期借入金の減少額1億91百万円、配当金の支払90百万円等による資金の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,770,957	1,317,589
受取手形及び売掛金	341,417	298,909
商品及び製品	2,761,007	3,047,364
仕掛品	3,306	3,111
原材料及び貯蔵品	30,065	20,359
その他	305,130	305,292
貸倒引当金	△118	△107
流動資産合計	5,211,766	4,992,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,164,376	3,050,496
土地	4,494,352	4,591,465
その他(純額)	853,788	913,048
有形固定資産合計	8,512,517	8,555,010
無形固定資産	73,394	70,084
投資その他の資産	748,476	778,331
固定資産合計	9,334,388	9,403,426
資産合計	14,546,154	14,395,946

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,850,682	1,857,012
短期借入金	5,251,079	5,035,919
未払法人税等	259,810	135,869
賞与引当金	139,100	148,700
その他	1,175,343	1,053,912
流動負債合計	8,676,016	8,231,414
固定負債		
長期借入金	2,374,695	2,027,532
退職給付引当金	437,366	449,972
役員退職慰労引当金	227,984	234,662
その他	46,283	46,032
固定負債合計	3,086,328	2,758,199
負債合計	11,762,345	10,989,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	901,500	1,161,078
資本剰余金	889,414	1,148,992
利益剰余金	940,930	1,039,087
株主資本合計	2,731,845	3,349,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,303	17,428
その他の包括利益累計額合計	17,303	17,428
少数株主持分	34,660	39,745
純資産合計	2,783,809	3,406,331
負債純資産合計	14,546,154	14,395,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,486,208
売上原価	9,209,808
売上総利益	2,276,399
販売費及び一般管理費	1,919,716
営業利益	356,683
営業外収益	
受取賃貸料	6,028
受取保険金	8,724
その他	10,144
営業外収益合計	24,897
営業外費用	
支払利息	44,053
その他	7,767
営業外費用合計	51,820
経常利益	329,760
特別利益	
受取保険金	49,978
特別利益合計	49,978
特別損失	
和解金	49,998
特別損失合計	49,998
税金等調整前四半期純利益	329,740
法人税、住民税及び事業税	128,649
法人税等調整額	8,928
法人税等合計	137,578
少数株主損益調整前四半期純利益	192,162
少数株主利益	6,254
四半期純利益	185,907

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	192,162
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	124
その他の包括利益合計	124
四半期包括利益	192,287
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	186,032
少数株主に係る四半期包括利益	6,254

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成25年4月1日  
至平成25年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	329,740
減価償却費	287,188
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,599
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,606
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,677
受取利息及び受取配当金	△2,766
支払利息	44,053
受取保険金	△49,978
和解金	49,998
売上債権の増減額 (△は増加)	42,508
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△139,802
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,330
その他	△128,407
小計	467,747
利息及び配当金の受取額	2,766
利息の支払額	△44,529
保険金の受取額	49,978
和解金の支払額	△49,998
法人税等の支払額	△250,866
営業活動によるキャッシュ・フロー	175,097
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△75,000
定期預金の払戻による収入	75,000
有形固定資産の取得による支出	△470,160
投資有価証券の取得による支出	△2,396
その他	△18,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△491,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△191,800
長期借入金の返済による支出	△370,522
少数株主への配当金の支払額	△1,170
株式の発行による収入	519,156
配当金の支払額	△90,150
その他	△2,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△453,367
現金及び現金同等物の期首残高	1,583,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,130,214

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月26日を払込期日とする有償一般募集増資による払込を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ259,578千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,161,078千円、資本剰余金が1,148,992千円となっております。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,159,422	326,786	11,486,208	—	11,486,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,533	16,816	26,349	△26,349	—
計	11,168,955	343,602	11,512,557	△26,349	11,486,208
セグメント利益	426,763	74,083	500,846	△144,163	356,683

(注) 1. セグメント利益の調整額△144,163千円には、セグメント間取引消去1,153千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△145,317千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。